

参考文献（コウモリ類の解説に引用）

- 1) 前田喜四雄. 2005. 翼手目. 日本の哺乳類 [改訂版]. 東海大学出版会. 東京, pp25-64.
- 2) コウモリの会(編). 2005. コウモリ識別ハンドブック. 文一総合出版. 東京. 68pp.
- 3) 環境省. 2003. 平成14年度環境省請負業務報告書 環境影響評価に関する事後調査報告等収集・整理・解析事業報告書 別冊(動植物の移植等に係る実態調査)(コウモリ類および藻場). 日本エヌ・ユー・エス株式会社. Pp18-39.
- 4) 環境省自然環境局野生生物課編. 2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-1 哺乳類., (財)自然環境研究センター. 175pp.
- 5) J. D. オルトリンガム. 1998. コウモリ —進化・生態・行動—. 八坂書房. 東京. 402pp.
- 6) 大沢夕志+啓子. 1995. オオコウモリの飛ぶ島—南の島の生きもの紀行—. 山と溪谷社. 東京. 229 pp.
- 7) 前田喜四雄. 2001. 日本コウモリ研究誌. 東京大学出版会. 東京. 203pp.
- 8) 前田喜四雄・橋本肇. 西表島産 3 種の小型コウモリ類の採餌環境 (1) いわゆる開けた場所と樹木に被われた場所の差異. 東洋蝙蝠研究所紀要 (2) : 18-20.
- 9) 森井隆三. 2005. コウモリとともに. 122pp. (自費出版)
- 10) 前田喜四雄. 1993. 利尻島で記録されたキタクビワコウモリ. 利尻町立博物館年報 12 : 11-13pp.
- 11) 前田喜四雄. 1996. 北海道美幌町におけるコウモリ類の分布に関する研究 (1). 利尻町立博物館年報 4 : 33-40pp.
- 12) 前田喜四雄・西井一浩・小栗太朗. 2002. 奄美大島からのヤンバルホオヒゲコウモリ *Myotis yanbarensis* とリュウキュウテングコウモリ *Murina ryukyuan* の初記録. 東洋蝙蝠研究所紀要 (2) : 16-17pp.
- 13) 北海道環境生活部環境室自然環境課編集. 2001. 北海道の希少野生生物 - 北海道レッドデータブック 2001 - : 161-165pp.
- 14) 青森県環境生活部自然保護課編集. 2000. 青森県の希少な野生生物 - 青森県レッドデータブック - : 102-116pp.
- 15) 岩手県生活環境部自然保護部自然保護課編集. 2001. いわてレッドデータブック - 岩手県の希少な野生生物 - : 297-315pp.
- 16) 秋田県生活環境文化部自然保護課編集. 2002. 秋田県の絶滅のおそれのある野生生物 - 秋田県版レッドデータブック - 動物編 : 29-31pp.
- 17) 山形県希少野生生物調査検討委員会動物部会編集. 2003. 山形県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックやまがた - : 49-64pp.
- 18) 宮城県環境生活部自然保護課編集. 2001. 宮城県の絶滅のおそれのある希少な野生動植物 - 宮城県レッドデータブック - : 27-31pp.
- 19) 福島県生活環境部環境政策室自然保護グループ編集. 2003. レッドデータブックふくしまⅡ - 福島県の絶滅のおそれのある野生生物 - : 49-59pp.
- 20) 新潟県環境生活部環境企画課編集. 2001. レッドデータブックにいがた - 新潟県の保護上重要な野生生物 - : 31-33pp.
- 21) 栃木県林務部自然環境課、栃木県立博物館編集. 2005. レッドデータブックとちぎ - 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物 - : 485-496pp.
- 22) 茨城県生活環境部環境政策課編集. 2000. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 (動物編) - レ

- ッドデータブック - : 30-31pp.
- 23) 群馬県環境生活部自然環境課編集. 2002. 群馬県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編 - 群馬県レッドデータブック - : 27-29pp.
 - 24) 埼玉県環境部自然保護課編集. 1997. さいたまレッドデータブック (普及版) - 埼玉県希少野生生物調査報告書 動物編 - 26-28pp.
 - 25) 高桑正敏・勝山輝男・木場英文編集. 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 : 228-229pp.
 - 26) 長野県生物多様性研究会、長野県自然保護研究会編集. 2004. 長野県版レッドデータブック - 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 - : 35-45pp.
 - 27) 山梨県森林環境部みどり自然課編集. 2005. 2005 山梨県レッドデータブック - 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物 - : 146-153pp.
 - 28) 安井さち子・上條隆志・繁田真由美・佐藤洋司. 2000. 栃木県におけるヒメホオヒゲコウモリ *Myotis ikinnikovi* OGNEV の分布と現存植生図を用いた分布の解析. 哺乳類科学,40(2) : 155-165pp.
 - 29) 富山県生活環境部自然保護課編集. 2002. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックとやま - : 23-28pp.
 - 30) 岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課編集. 2001. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物 - 岐阜県レッドデータブック - : 122-131pp.
 - 31) 静岡県自然環境調査委員会編集. 2004. まもりたい静岡県の野生生物 - 県版レッドデータブック - (動物編) : 38-50pp.
 - 32) 愛知県環境部自然環境課編集. 2002. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックあいち - (動物編) : 53-63
 - 33) 奈良県レッドデータブック策定委員会編集. 2006. 大切にしたい奈良県の野生動植物 - 奈良県版レッドデータブック - : 24-33pp.
 - 34) 滋賀県生き物総合調査委員会編集. 2005. 滋賀県で大切にすべき野生生物 - 滋賀県レッドデータブック 2005 年度 - : 271-278pp.
 - 35) 三重県自然誌の会. 2004. 三重県自然誌 第 8/9/10 号 : 83-90pp.
 - 36) 福井県福祉環境部自然保護課編集. 2002. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 - 福井県レッドデータブック (動物編) - : 24-27pp.
 - 37) 山口県生活環境部環境政策課編集. 2002. レッドデータブックやまぐち - 山口県の絶滅のおそれのある野生生物 - : 30-38pp.
 - 38) 広島県編集. 2002. 広島県の自然と野生生物 - レッドデータブックひろしま - : 56-61pp.
 - 39) 島根県環境生活部景観自然課編集. 1997. しまねレッドデータブック (動物編) - 島根県の保護上重要な野生動植物 - : 28-40pp.
 - 40) 鳥取県自然環境調査研究会編集. 2002. レッドデータブックとっとり (動物編) - 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物 - : 27-29pp.
 - 41) 愛媛県貴重野生動植物検討委員会編集. 2003. 愛媛県レッドデータブック - 愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物 - : 33-36pp.
 - 42) 徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会編集. 2001. 徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県版レッドデータブック - : 45-47pp.
 - 43) 沖縄県環境保険部自然保護課編集. 1996. 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ) . 沖縄県. 479p

- 44) 佐賀県希少野生生物調査検討会編集. 2000. 佐賀県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックさが - : 254-255pp.
- 45) 長崎県県民生活環境部自然保護課編集. 2001. ながさきの希少な野生動植物 - レッドデータブック 2001 - : 304-308pp.
- 46) 大分県自然環境学術調査会野生生物専門部門編集. 2001. レッドデータブックおおいた - 大分県の絶滅のおそれのある野生生物 - : 295pp.
- 47) 宮崎県版レッドデータブック作成検討委員会編集. 2002. 宮崎県版レッドデータブック - 宮崎県の保護上重要な野生生物 - : 229-232pp.
- 48) 熊本県希少野生動植物検討委員会編集. 1998. 熊本県の保護上重要な野生動植物 - レッドデータブックくまもと - : 167-176pp.
- 49) 前田喜四雄. 1984. 日本産翼手目の採取記録 (I) 哺乳類科学 第 49 号 : pp.55-78
- 50) 前田喜四雄. 1986. 日本産翼手目の採取記録 (II) 哺乳類科学 第 52 号 : pp.79-97
- 51) 小柳恭二・辻明子・山崎晃司. 2003. 茨城県におけるコウモリ類の生息分布 茨城県自然博物館研究報告 第 6 号 : pp.89
- 52) 浦野信孝. 2003. 大阪府で発見されたヒナコウモリの繁殖コロニー コウモリ通信 第 16 号 : 11
- 53) コウモリ会編集部. 1999. オヒキコウモリの捕獲記録 コウモリ通信 第 11 号 : 4
- 54) 畑瀬 淳・寺山美穂子・金井塚努. 1999. 広島市の市街地で発見されたオヒキコウモリの集団ねぐら. 日本哺乳類学会 1999 年度大会プログラム・講演要旨集,200p.
- 55) 辻明子・小柳恭二. 2001. 新潟県におけるクロホオヒゲコウモリ *Myotis pruinosus* Yoshiyuki,1971 の記録東洋蝙蝠研究所紀要 第 1 号 : 10-12pp.
- 56) 秋葉保夫・高橋修・高橋雄一. 1996. 宮城県の野生哺乳動物. 宮城野野生生物研究会 : PP.101
- 57) 武藤朱. 2005. 山形県コウモリ調査報告. ばつとぼつくす No.5 : 5-6pp.
- 58) 小柳恭二・辻明子・山本輝正. 2002. 岐阜県揖斐郡藤橋村におけるコウモリ類の分布 東洋蝙蝠研究所紀要 第 2 号 : 8-12pp.
- 59) 小柳恭二・辻明子. 2006. 熊本県におけるコテングコウモリ *Murina ussuriensis* Ognev,1913 の初記録と冬期のねぐらの環境条件 東洋蝙蝠研究所紀要 第 5 号 : 23-26pp.
- 60) 井上祐治. 2006. 早池峰山麓コウモリ調査・観察会報告. ばつとぼつくす No.6 : 3-4pp.
- 61) 木村吉幸・丹治美生・佐藤洋司・大槻晃太・渡邊憲子・加藤直樹. 2002. 福島県に生息するコウモリ類. 哺乳類科学 42(1) : 71-78pp.
- 62) 群馬県. 1990. コウモリ類(翼手目) 群馬県の貴重な自然 動物編. 48-49pp.
- 63) 佐野 明. 2000. 石川県における洞穴性コウモリ 4 種の分布とねぐらの利用状況. 哺乳類科学 40(2) : 167-173pp.
- 64) 佐野 明・清水善吉・佐野順子・山本輝正. 2006. 紀伊半島からのオヒキコウモリ生息地の初記録. 紀伊半島の野生生物 8 : 3-5pp.
- 65) 浦野守雄・重昆達也・高水雄治. 2002. 東京都多摩地域のコウモリ類(1)あきる野市、青梅市、檜原村における採集記録. 東京都高尾自然科学博物館研究報告 21 : 13-20pp.
- 66) 船越公威. 1998. 大隅半島のコウモリ相. 自然愛護 24 : 2-5pp.
- 67) 船越公威. 2000. 霧島山および山麓地域のコウモリ相. 自然愛護 26 : 1-4pp.
- 68) 石川重五郎. 1958. 九州地方の石灰洞窟とその動物相. 高知女子大学紀要 6 : 7-22pp.
- 69) 船越公威. 1997. 宮崎県のコウモリ類. 宮崎県総合博物館研究紀要 20 : 17-24pp.

- 70) 向山 満. 1995. 白神山地の動物(両生類・爬虫類・翼手類)の生息状況. 環境庁請負調査報告書 平成6年度 特定地域自然林総合調査報告書(白神山地自然環境保全地域総合調査報告書), (財)国立公園協会. Pp.325-366
- 71) Abe,H.,T.Kobayashi,K.Maeda and T.Miyao. 1970. Faunal survey of the Mt.Ishizuchi area,JIBP main area-II. Result of the small mammal survey on the Mt.Ishizuchi area. In:"Studies on the Aniaml Communities in the Terrestrial Ecosystem and their Conservertion . Annual Report of JIBP/CT-S for the Fiscal Year of 1969",M.Kato ed., JIBP/CT-S,7-14.
- 72) 宮尾嶽雄・両角徹郎・毛利孝之・前田喜四雄. 1972. JIBP 主調査地,霧島山地域の動物相報告書-I. 霧島山系の哺乳類,陸上生態系における動物群集の調査と自然保護の研究,加藤睦夫編,昭和46年度研究報告.,JIBP/CT-S,8-18
- 73) 畑瀬 淳. 2003. クロホオヒゲコウモリの生息環境は「たたら製鉄」によって失われたか. 日本哺乳類学会2003年度大会プログラム・講演要旨集. P235.
- 74) 山本輝正. 野崎英吉. 2002. 白山地域におけるコウモリ目相. 石川県白山自然保護センター研究報告 29 : 73-76.
- 75) 山本輝正. 1990. 石川県のコウモリ. (石川の生物編集委員会, 編:石川の生物) pp.137-142. 石川県高等学校教育生物部会.